



竹中功さんはニュー스타ークリエーション、よしもとNSC、あの有名なお笑いの学校を作られた方です。1980年漫才チームとなり、大阪の漫才が東京でうけ、本拠地大阪の芸人不足となり、学校を作ることになり、竹中さんは、よしもと入社半目、22才の時、担当になりました。それまで芸人さんは、弟子として師匠の家で寝食を共に学んでいましたが、時代にそぐわず、学校で授業料を払って、指導をおおぐこととなり、NSCが設立、1期生には、ダウンタウン、トミーズ、ハイヒールさんがおられます。竹中さんのお話で印象に残ったのは「だれもが一番になれる」「コミュニケーションとは良き人間関係の構築」です。

ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワン、他とは違うという意味での一番、その違いは個性と魅力であり、その個性と魅力を磨いていこうと。同じお土産を売るA店とB店、なぜかB店がよく売れます。B店のC店員さんは、お客様に地域の、お役立ち情報を教えてくれて、その上人なつくく楽しい人、するとお客様は、Cさんに気持ちが良い。「おばさん、ありがとう」とお土産を買って帰られるそうです。

また、売れ続ける、明石家さんまさんとダウンタウンさんのことについては、時に「今日はうけなかったね」と正直に伝えるときまって「新しいネタ考えます」と自分を認め、自分の責任と考え、変わる事ができる人です、と言われていました。

それをそばで見ている「変わる事が生きる力」「変わることに平気な人は最強だ」とオンリーワンを感じるそうです。

コミュニケーションについては、言葉のキャッチボールからはじまり、心のキャッチボール、良き人間関係を構築、相手をおもんばかりながら、楽しくゆかいに、それぞれの想いや願い、精神さえも交換、共感力を育み、いっしょにいて楽しいと笑顔の伴う感情を大切にしましょう、と。とは言え、相手の印象を決めるのに、要する時間は0.1秒、視線、口元、首、手、身体の動きを見て感じます。0.1秒で感じておられる、目の前の人に私たちは、いかにして笑顔と安心をお届けできるでしょう。

近年はコミュニケーション力を重視されてきましたが、ここ数年は、コミュニケーションをとらずに、働きたいという人もあります。時代の流れで否定はできませんが、本来の意味での、コミュニケーション力を磨く大切さを、あらためて学びました。そして竹中さんは、入社すぐの大役にとまどいはしたが「なんでも、やってみよう」とチャレンジしたことには幸運だったとも、ふりかえっておられました。

おやつパーティー

～ロールケーキをアレンジ～

今回は、ワンプレートデザートに挑戦しました。

ロールケーキに色とりどりのフルーツたっぷり、お好きなソースをトッピングして完成です♡

「豪華やなー」「美味しかったで！またしてや」と、みなさまに大好評でした。



お知らせとお願い

◎ご家族面会を継続しております。

お電話にてご予約を承っております。ガラス越し面会か、室内にてフェイスシールド着用での面会をお選び頂けます。1回15分程度でご協力お願い致します。

◎8月1日より各証書類が更新となります。

7月中に新しい証書が住所地に郵送されますので、なるべくお早めに郵送もしくは事務所窓口までお届け下さいますよう、お願いいたします。

- ・後期高齢者医療被保険者証 (保護世帯以外の方)
- ・後期高齢者医療限度額適用
標準負担額減額認定証 (お持ちの方)
- ・介護保険負担割合証 (すべての方)
- ・介護保険負担限度額認定証 (お持ちの方)

7行事予定

3(月)物故者慰霊の日 7日(金)七夕会

10日(月)24日(月)喫茶

30日(日)誕生日会

